

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ゼミナールⅣ (SeminarⅣ)					担当教員	番 雪氷 (キョウ セツヒョウ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL/外部講師招聘科 目
	2025-0-41-061	ゼミナール科目	必修	2 単位	4 年次	通年		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL/外部講師招聘科 目
	2425-0-41-006	ゼミナール科目	必修	2 単位	4 年次	通年		

① 授業のねらい・概要
本ゼミナールは、地域活性化に貢献することを基本とし、各自の課題発見能力、課題解決能力、プレゼンテーション能力の3つを身に付けることを目標とする。実践的な活動として、長岡市悠久山地区の活性化につながる活動に取り組む。イベントを企画・開催することおよび悠久山ツアーなど企画・実施する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢/コミュニケーション能力/専門的知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力を育成する/職業人として通用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
基本的にゼミ生による活動の計画、報告など発表形式で授業を行う。ゼミで取り組む課題を設定し、各自分担役割を決め、資料収集・分析、企画書作成、調査研究報告書の作成、成果の発表というプロセスを経て授業を進めていく。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
テキストは指定しない。各回、必要に応じてレジュメを配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
その都度、提示する。
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
ゼミでは、「一期一会」という言葉が表すように、御縁を大切に、青春時代の2年間を仲間と一緒に楽しく成長することを目指しましょう。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 自ら課題を設定し、関連する情報を収集することができる。 (ii) 目的に適う企画書を提案し、それを実行することができる。 (iii) 自ら報告書をまとめ、分かりやすい発表を工夫することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 自ら課題を設定し、関連する情報を収集することができる。	自ら課題を発見し、綿密な調査と情報を収集することができる。	自ら課題を発見し、関連する情報をある程度収集することができる。	与えられた課題について、綿密な調査と情報を収集することができる。	自ら課題を発見できないが、与えられた課題について、情報を収集することができる。	与えられた課題について、情報を収集できない。
(ii) 目的に適う企画書を提案し、それを実行することができる。	目的に適い、かつ綿密な企画書を提案し、実行することができる。	目的に適う企画書を提案し、それを実行することができる。	企画書の各基本項目について、より詳しい企画書を提案することができる。	企画書の基本項目は簡条書きのみで提案することができる。	企画書の基本項目を提案することができない。
(iii) 自ら報告書をまとめ、分かりやすい発表を工夫することができる。	リーダーとして報告書をまとめ、分かりやすい発表を工夫することができる。	自ら報告書をまとめ、分かりやすい発表を工夫することができる。	自ら報告書をまとめ、意欲的に発表することができる。	指示した内容について報告書としてまとめられる。	指示した内容について報告書としてまとめられない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			10%		50%	40%	100%
(i) 課題を発見し情報収集する能力			10%		10%	10%	30%
(ii) 企画書を提案し実行する能力					20%	20%	40%
(iii) 報告書を作成し発表する能力					20%	10%	30%
フィードバックの方法	授業内で、各自の発表に対して全員で討議することにより企画書と報告書を再検討する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、自己紹介、課題設定についての討議	コラボしたい課題を考えてくる	120 分
2	自ら興味を持つ課題の資料を基に、スピーチを行う	スピーチの準備	120 分
3	情報・資料収集・発表	各自役割分担した内容について調査する	120 分
4	情報・資料収集・発表	各自役割分担した内容について調査する	120 分
5	情報・資料収集・発表	各自役割分担した内容について調査する	120 分
6	企画書作成	企画書作成	120 分
7	企画書作成	企画書作成	120 分
8	企画書を実行するシミュレーション	企画書作成	120 分
9	企画書を実行するシミュレーション	企画書作成	120 分
10	企画書の再検討&企業との打ち合わせ	企画書作成	120 分
11	企画書の再検討&企業との打ち合わせ	企画書作成	120 分
12	企画書の再検討&企業との打ち合わせ	企画書作成	120 分
13	企画書の再検討&企業との打ち合わせ	企画書作成	120 分
14	企画書の再検討&企業との打ち合わせ	企画書作成	120 分
15	半期の振り返り	各自発表の準備	120 分
16	夏休みを振り返り、前期のまとめと後期の予定報告	各自の発表	120 分
17	悠久祭打ち合わせ&企画書作成	企画書作成	120 分
18	悠久祭打ち合わせ&企画書作成	企画書作成	120 分
19	悠久祭打ち合わせ&企画書作成	企画書作成	120 分
20	悠久祭準備活動	企画書の実行	120 分
21	悠久祭振り返り、地域活性化発表会に向けたプレゼン資料の作成と発表練習	プレゼン資料作成	120 分
22	地域活性化発表会に向けたプレゼン資料の作成と発表練習	プレゼン資料作成	120 分
23	地域活性化発表会に向けたプレゼン資料の作成と発表練習	プレゼン資料作成	120 分
24	地域活性化発表会の練習	プレゼン資料作成	120 分
25	活動報告書指導	活動報告書作成	120 分
26	活動報告書指導	活動報告書作成	120 分
27	活動報告書指導	活動報告書作成	120 分

28	活動報告書指導	活動報告書作成	120 分
29	活動報告書指導	活動報告書作成	120 分
30	一年間の振り返り	活動報告書作成	120 分

⑫ アクティブラーニングについて			
授業内で、各自の発表に対して全員で討議することにより企画書と報告書を再検討する。必要に応じて、インタビュー調査・助言・指導を行う。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
国際コンサルティング業務の経験を持ち、中国中央テレビ局ドキュメンタリー制作会社の依頼より、日本での撮影取材交渉に携わるほか、中日企業の業務取引提携の斡旋なども行った。			
実務経験と授業科目との関連性			
課題設定、企業ヒアリング、企画書作成などあらゆる面において、国際コンサルティングの経験を活かすことができる。			